

一般会計補正予算案など 四議案を可決

第二回臨時議会

本年第二回目の臨時議会が、五月二日議場で開かれ、一般会計の補正予算案など四議案が上程、いずれも原案どおり可決しました。

要旨は次のとおりです。

- 一、専決処分承認を定めること。
- 黒埼町税条例の一部改正
- 黒埼町国民健康保険条例の一部改正
- 昭和五十五年度一般会計補正予算(第八回)
- 昭和五十五年度国民健康保険特別会計補正予算(第五回)
- 一、土地の取得
 - 廃棄物埋立用地として、小平方地内の土地、二六、〇三平方メートル、二億三千六百九十九千六百五〇円で取得。
- 一、町職員の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正
 - 国家公務員について四週一回交替半休制が、実施され県内でも市町村立学校県費負担事務職員等の週休二日制の試行を実施するため、教育委員会規則を制定する必要が生じたので、条例の一部を改正するもの。
- 一、昭和五十六年度一般会計補正予算(第一回)
 - 廃棄物埋立用地買収費二億三千六百萬円などを補正し、総額三十億五千四百四十四千円に。



**議会議長に
鳴海敏雄氏**
臨時議会において議長に鳴海敏雄氏、副議長に坂井行康氏が賛成多数で新たに選出されました。



鳴海敏雄氏略歴
町議五期。総文委員長、高校建設促進特別委員長、副議長を歴任。西蒲土地改良共通委員。立位。六十一歳。



坂井行康氏略歴
町議二期。総文副委員長、黒埼労働協幹事、大野小、黒埼高の各PTA役員を歴任。大野。四十七歳。

総務文教委員会

◎石附寅市	○江端年一	藤橋十三男
大谷福蔵	泉喜十郎	時田善二
大野周助	大坂久六	渡辺武七

産業建設委員会

◎熊木惣平	○佐藤和夫	大矢誠策
竹内竹市	高橋博男	保苺定次郎
黒川繁	佐藤寅一	磯部博

社会労働委員会

◎安藤忠治	○小林助治	鳴海敏雄
笠原満夫	東条栄松	大野仁平治
坂井行康	田代敏男	

議会運営委員会

◎田代敏男	○大野仁平治
高橋博男	渡辺武七
坂井行康	藤橋十三男
黒川繁	

都市問題懇談会発足



11月の答申に向け活発な意見が交わされる。

住みよい黒埼をめざし

県都新潟市の表玄関口としての本町の位置づけを明確にし、この町に生まれ育ち、住んでよかったという町づくりに向け、十三名で構成する「都市問題懇談会」が発足。五十年後を目途とした、黒埼のあるべき姿、とるべき姿を模索し、十一月の答申に向け、スタートが切られました。

この会は十三名の委員で構成され、町在住、町出身者がほとんど

を除き十二名の委員が出席、名称「都市問題懇談会」とするかどうかも、十一月答申は期間的に無理との意見が数名の委員から提案されましたが、急速度に変ぼうする黒埼の状態は、ストップのきかない時期に来ており、早急に提言をお願いしたいとの町長の要請で、名称も「黒埼町都市問題懇談会」とし、提言も十一月をメドに作業が進められることになり、第二回目の懇談会では、レールに沿った話し合いが進められることになりこの会の成果が待たれます。

過日の自治会長会議の席上、町長は、明るく豊かで住みよい町づくりを進めるため、みなさんの意見や要望などについて、膝をまじえて対話の場をつくり、意見や要望を町政に反映させることを目的に次の要項で「町政懇談会」を開く予定です。

- 一、開催期間 五月上旬から十一月末までの間とします。
- 一、開催日時 開催希望地域に一任しますが、

● 開催場所は地域の公民館を、お願いします。

● 開催場所は地域の公民館を、お願いします。

● 開催場所は地域の公民館を、お願いします。

企業投書についてお答え

去る四月二十一日付の投書で、黒埼町に墓地を求めたいとの問合せがありました。当課ではガス・水道のみを取扱っており、墓地の幹事は致しておりませんのでご了承願います。

墓地の分譲については最寄のお寺などでご相談されたいかと思っております。(お寺で墓地を分譲しているところもあるようです)

黒埼町一住人殿 黒埼町企業課

黒埼町都市問題懇談会委員

- 二/新潟女子短期大学教授 康光
 - 平/元助役(行政相談員) 雄/ (有) 児玉薬局社長
 - 夫/ (元) 町長(医師) 衛/ (株) 第四銀行大野支店長
 - 郷/新潟県中小企業団体中央会専務理事
 - 保/新潟大学助教授(教養部)
 - 一/黒埼町農業委員長 市/大野町商工会長
 - 男/新潟日報論説委員長 子/ 市/黒埼農業協同組合長
 - 春/ 市/西蒲原土地改良区理事長
 - 治/朝日産業(有)代表取締役(農業)
- (五十音順)
- 妻 浅柄 児 清 鈴 高 高 高 竹 長 本 鷲 鷲
 - 妻 沢 玉 水 木 橋 利 喜 竹 甲 子 男 春 貞 惣

町政懇談会開催